

時相詞(2008/10/01 (水) 10:37:46)より転記

制アルカの品詞で、時制と相を表すもの。
不定詞とくっついて動詞を作る。

動詞語幹（不定詞） + 時相詞 = 動詞
となる。

例：ke（行く） + at（過去の開始相） ke-at（行き始めた）

一文字にかかる情報量が多すぎるのが欠点。

tかkかで、行為が始まったのか終わったのか、意味が反対になってしまう。
聞き間違えたら一巻の終わりで、過合理。新生では廃止された。